

副専攻名 社会学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、社会学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論を必修とし、社会学の研究法の科目群、社会学の成果を学ぶ科目群のそれぞれから、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・現代社会に対する高い関心をもつようになる。
- ・社会学の思考法について、体系性をもちながら、理解する。
- ・社会学のデータ収集と分析の技法について、基礎的知識をもつ。
- ・各領域の社会学の成果について知り、説明できるようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
11009	社会学概論A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科学としての社会学の特徴を理解する。 ・社会学の基礎理論を学ぶ。 ・社会学の対象と方法について、基礎的知識を持つ。 ・社会学の今日的課題に関心を持つ。 	1		
41101	社会学概論B	<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の目的と歴史、社会調査の倫理について学ぶ。 ・さまざまな社会調査の種類とそれぞれの方法が持つ長所と問題点を理解する。 ・質問紙調査を中心に、社会調査の設計から実施、収集したデータの分析までの流れを学ぶ。 ・自分の目的にあった種類の社会調査を選択し、調査の企画・計画を立案できるようになる。 	1		
41103	社会統計学2	<ul style="list-style-type: none"> ・多変量解析(特に重回帰分析)の方法を学ぶ。 ・変数間の関連性の指標について理解する。 ・社会調査データの分析法を身につける。 	2~4		
41104	社会学調査法	<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく方法を理解する。 ・サンプリングの諸方法、質問文・調査票の作り方、調査の実施方法を理解する。 	2~4		
41105	社会学説史	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学が専門領域として確立された歴史的背景を理解する。 ・古典的な社会学理論の展開を学ぶ。 ・社会学理論の現代的展開の方向について、見通しを持つ。 	2~4		
41106	社会変動論	<ul style="list-style-type: none"> ・社会集団や人間行動の変化を知る方法を学ぶ。 ・これまでの社会変動研究の成果を学ぶ。 ・具体的な社会変動のプロセスを理解する。 ・社会変動の方向を予測し、その影響を客観的に議論できるようになる。 	2~4		
41107	経験社会学	<ul style="list-style-type: none"> ・計量的な社会学のこれまでの成果を学ぶ。 ・計量分析のアウトプットを読めるようになる。 ・分析結果を適切に解釈し、議論を行えるようになる。 ・公的統計を取り扱う方法を身につける。 	2~4		

副専攻名 社会学[基礎]**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

すべての学生を対象として、社会学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論を必修とし、社会学の研究法の科目群、社会学の成果を学ぶ科目群のそれぞれから、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・現代社会に対する高い関心をもつようになる。
- ・社会学の思考法について、体系性をもちながら、理解する。
- ・社会学のデータ収集と分析の技法について、基礎的知識をもつ。
- ・各領域の社会学の成果について知り、説明できるようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41108	集団・組織論	・社会学的な集団・組織論のこれまでの成果を学ぶ。 ・各種の集団や組織を研究する方法を学ぶ。 ・社会学における集団・組織論の位置づけを理解する。 ・日常生活における出来事を集団・組織論的な観点から考える態度を涵養する。	2～4		
41109	応用社会学	・基礎研究と応用研究の区別を理解する。 ・基礎研究を応用して、社会現象の予測に役立てる方法を学ぶ。 ・応用社会学的観点に立って、社会問題について議論を行えるようになる。	2～4		
41110	社会理論	・社会現象の因果的説明の方法を学ぶ。 ・社会理論の文献を読めるようになる。 ・社会理論における諸問題に関する議論が行えるようになる。	2～4		
41123	社会学基礎演習	・社会学的な見方、思考と、我々がすでにもっている常識とを明確に区別できるようになる。 ・社会現象についての常識的な見方に対して、社会学的な見方を対置できるようになる。 ・プレゼンテーションの方法を学び、発表・発言することに積極的な態度を身につける。	2～4		